

2018年3月期 上半期連結業績概要

常務執行役員
山西 哲司

- ◆売上は半期及び四半期ベースで過去最高
- ◆営業利益は高周波部品事業の一部譲渡影響を既存事業の収益拡大で吸収

- 上半期の売上は前年同期比7.7%増、営業利益は4.5%減。
- 受動部品は、高周波部品の一部事業譲渡後も収益基盤を強化。
- 磁気応用製品は、HDDヘッドの収益安定化、及び磁石、電源の産業機器市場向け拡大販売により増収増益。
- 二次電池は、顧客基盤拡大や新規アプリケーション向けの販売拡大が継続、半期・四半期ベースで売上、営業利益が過去最高。
- センサ応用製品は、「センサシステムズビジネスカンパニー」のもとセンサ事業拡大の成長戦略施策を推進。

2018年3月期上半期連結業績概要

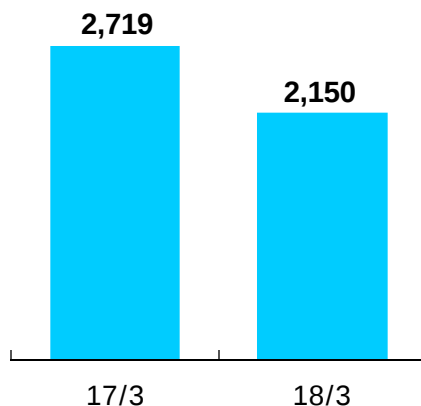


(億円)		2017年3月期 第2四半期累計実績 (2016.4.1~2016.9.30)	2018年3月期 第2四半期累計実績 (2017.4.1~2017.9.30)	対前年同期比	
				増減	増減率 (%)
売上高		5,792	6,236	444	7.7
営業利益		443	423	△ 20	-4.5
営業利益率		7.6%	6.8%	-0.8pt	-
税引前利益		443	443	0	0.0
当期純利益		327	307	△ 20	-6.1
1株当たり利益 (円)		259.01	243.15	-	-
為替	対ドルレート (円)	105.41	111.08	5.4%の円安	
	対ユーロレート (円)	118.36	126.16	6.6%の円安	
為替変動による 影響金額		売上高：約274億円の増収 営業利益：約50億円の増益			

上半期各事業の状況（受動部品事業）

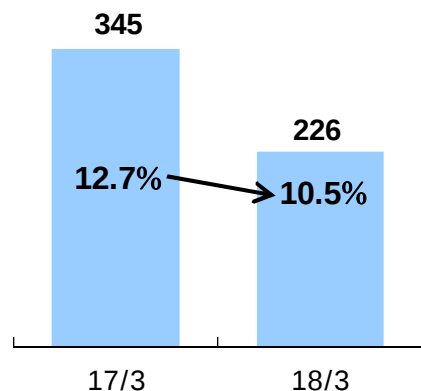
売上高

（億円）



営業利益（営業利益率）

（億円）



売上高 2,150億円（前年同期比20.9%減）
営業利益 226億円（前年同期比34.5%減）

●セラミックコンデンサ

- ・前年同期比で増収増益。
- ・自動車市場向け販売が増加。

●インダクティブデバイス

- ・売上は前年同期比で増加。
- ・自動車市場向け、産業機器市場向け販売が増加。

●高周波部品

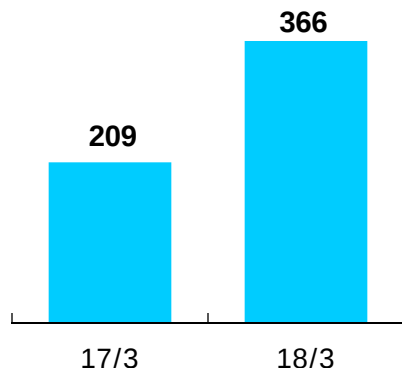
- ・一部事業譲渡の影響により前年同期比で減収減益。

●圧電材料部品

- ・前年同期比で増収増益。
- ・産業機器市場向け回路保護部品の販売が増加。

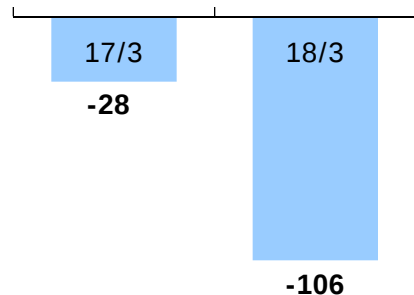
売上高

（億円）



営業利益（営業利益率）

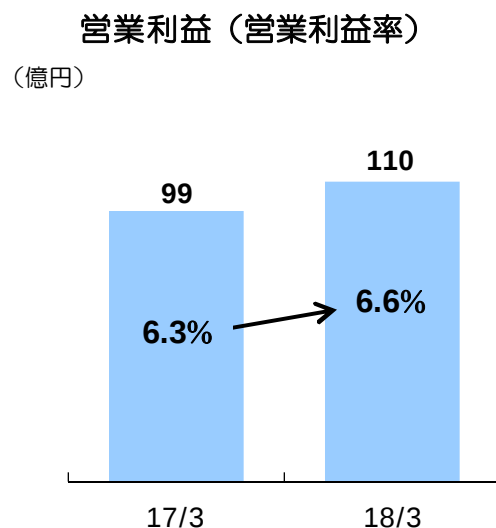
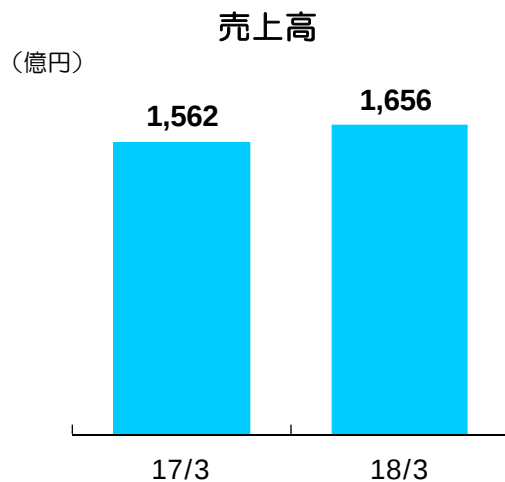
（億円）



売上高 366億円（前年同期比75.1%増）
営業利益 △106億円（前年同期比一%減）

●センサ

- ・5月に買収完了のインベンセンス社の売上が連結され前年同期比で売上増。
- ・自動車市場向け温度・圧力センサ、磁気センサの販売が前年同期比で増加。
- ・営業利益は、インベンセンス社の買収関連費用等の計上で赤字拡大。



売上高 1,656億円（前年同期比6.0%増）
営業利益 110億円（前年同期比11.1%増）

●HDDヘッド

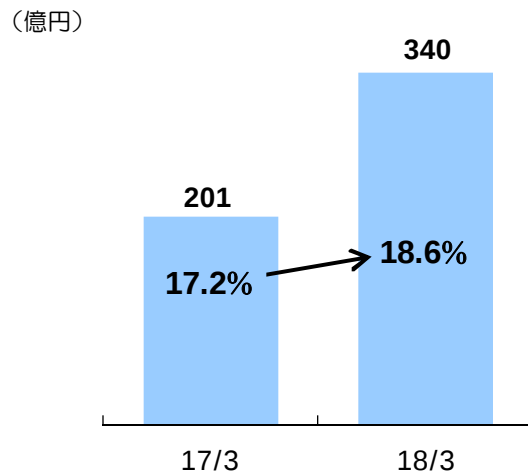
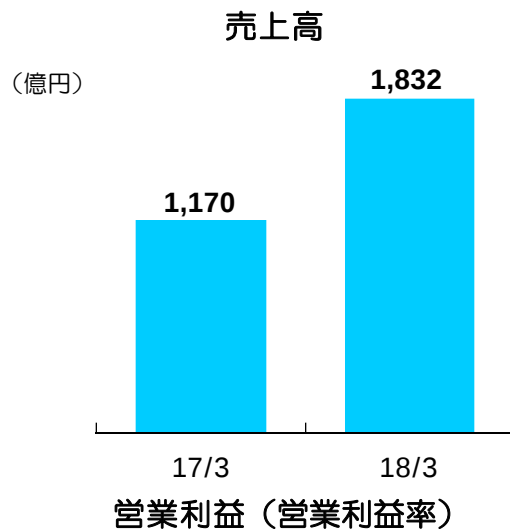
- ・売上は前年同期比で減少。
- ・サスペンションはHTI社買収により売上増。

●マグネット

- ・売上は前年同期比で増加。
- ・風力発電、産業機器、白物家電等の用途向けで売上増。

●電源

- ・産業機器市場が好調に推移し前年同期比で増収増益。
- ・半導体製造装置、ロボティクス関連用途向け等が好調。



売上高 1,832億円（前年同期比56.6%増）
営業利益 340億円（前年同期比69.2%増）

●エナジーデバイス（二次電池）

- ・前年同期比で増収増益。
- ・モバイル用途向けの販売が堅調に推移。
- ・ドローン、ゲーム機等の新規アプリケーション向けの販売も拡大。

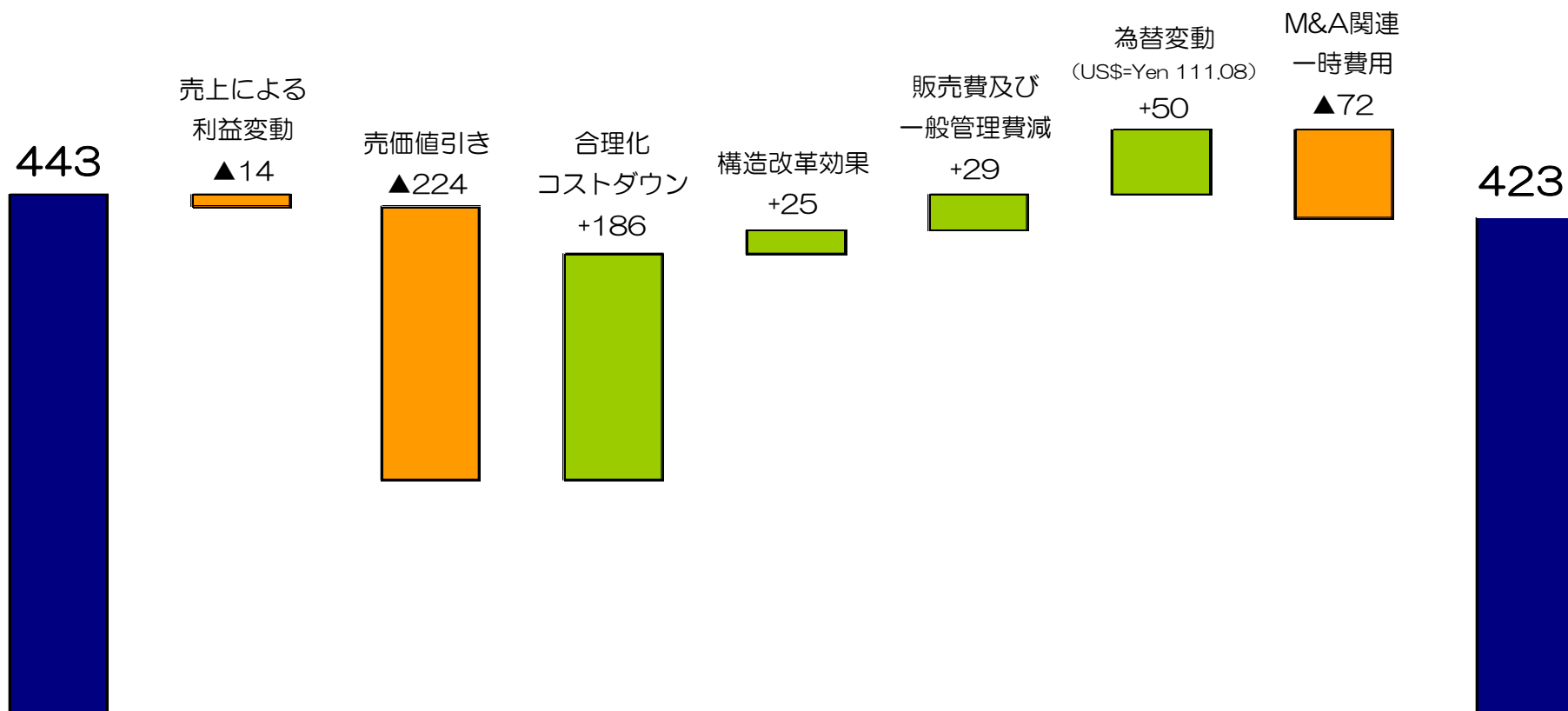
営業利益増減分析

2017年3月期
上半期
443億円

営業利益 ▲20億円

2018年3月期
上半期
423億円

(単位：億円)



2018年3月期 第2四半期連結業績概要



(億円)		2017年3月期 第2四半期実績	2018年3月期 第2四半期実績	対前年同期比	
				増減	増減率 (%)
売上高		3,004	3,340	336	11.2
営業利益		278	266	△ 12	-4.3
営業利益率		9.3%	8.0%	-1.3pt	-
税引前利益		279	273	△ 6	-2.2
当期純利益		203	197	△ 6	-3.0
1株当たり利益		160.71	156.35	-	-
為替	対ドルレート (円)	102.47	111.01	8.3%の円安	
	対ユーロレート (円)	114.36	130.26	13.9%の円安	
為替変動による 影響金額		売上高：約234億円の増収 営業利益：約39億円の増益			

セグメント別四半期実績

(億円)		2017年3月期 第2四半期 (A)	2018年3月期 第1四半期 (B)	2018年3月期 第2四半期 (C)	対前年同期比増減 (C) - (A)		対直前四半期増減 (C) - (B)	
					増減	増減率(%)	増減	増減率(%)
売上高	コンデンサ	337	363	392	55	16.3	29	8.0
	インダクティブデバイス	355	376	405	50	14.1	29	7.7
	その他受動部品	700	296	318	△ 382	△ 54.6	22	7.4
	受動部品合計	1,392	1,035	1,115	△ 277	△ 19.9	80	7.7
	センサ応用製品合計	105	164	202	97	92.4	38	23.2
	記録デバイス	573	567	618	45	7.9	51	9.0
	その他磁気応用製品	216	233	237	21	9.7	4	1.7
	磁気応用製品合計	789	800	856	67	8.5	56	7.0
	フィルム応用製品合計	652	797	1,035	383	58.7	238	29.9
	その他	66	99	133	67	101.5	34	34.3
	合計	3,004	2,895	3,340	336	11.2	445	15.4
営業利益	受動部品	197	102	124	△ 73	△ 37.1	22	21.6
	センサ応用製品	△ 18	△ 46	△ 61	△ 43	-	△ 15	-
	磁気応用製品	58	48	61	3	5.2	13	27.1
	フィルム応用製品	130	127	213	83	63.8	86	67.7
	その他	△ 26	3	△ 12	14	-	△ 15	-
	小計	341	235	325	△ 16	△ 4.7	90	38.3
	全社および消去	△ 63	△ 79	△ 59	4	-	20	-
	合計	278	156	266	△ 12	△ 4.3	110	70.5
営業利益率		9.3%	5.4%	8.0%	-1.3 pt	-	+2.6 pt	-
為替	対ドルレート (円)	102.47	111.16	111.01				
	対ユーロレート (円)	114.36	122.02	130.26				

この資料には、当社または当社グループ（以下、TDKグループといいます。）に関する業績見通し、計画、方針、経営戦略、目標、予定、認識、評価等といった、将来に関する記述があります。これらの将来に関する記述は、TDKグループが、現在入手している情報に基づく予測、期待、想定、計画、認識、評価等を基礎として作成しているものであり、既知または未知のリスク、不確実性、その他の要因を含んでいるものです。従って、これらのリスク、不確実性、その他の要因による影響を受けることがあるため、TDKグループの将来の実績、経営成績、財務状態が、将来に関する記述に明示的または黙示的に示された内容と大幅に異なったものとなる恐れもあります。また、TDKグループはこの資料を発行した後は、適用法令の要件に服する場合を除き、将来に関する記述を更新または修正して公表する義務を負うものではありません。

TDKグループの主たる事業活動領域であるエレクトロニクス市場は常に急激な変化に晒されています。TDKグループに重大な影響を与え得る上記のリスク、不確実性、その他の要因の例として、技術の進化、需要、価格、金利、為替の変動、経済環境、競合条件の変化、法令の変更等があります。なお、かかるリスクや要因はこれらの事項に限られるものではありません。

又、本資料では、業績の概略を把握していただく目的で、多くの数値は億円単位にて表示しております。百万円単位にて管理している原数値を丸めて表示しているため、本資料に表示されている合計額、差額などが1億円の桁において、不正確と見える場合があります。詳細な数値が必要な場合は、決算短信及び補足資料を参照していただきますようお願いいたします。



決算説明会の質疑応答を含むテキスト情報は、以下のページに後日掲載いたします。
http://www.tdk.co.jp/ir/ir_events/conference/2018/2q_1.htm